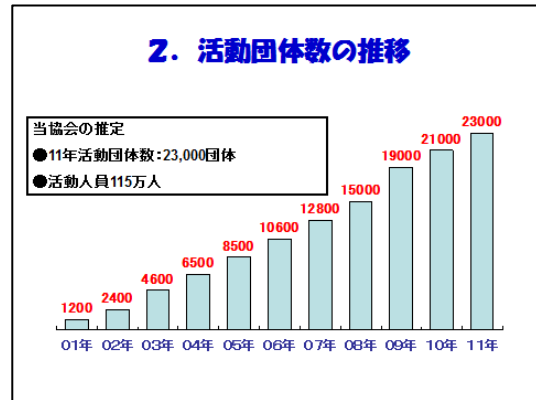
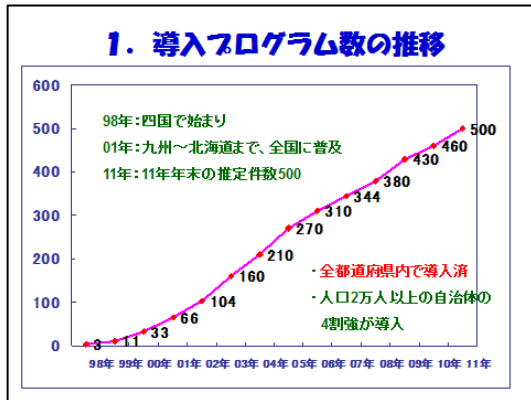


第1部 食環境プレゼンテーション

制度・活動団体数の推移

平成23年末の全国のアダプト・プログラム数は、全国の自治体ホームページや当協会が得た情報をもとに500程度と推計しています。現在では全ての都道府県内で、都道府県または市区町村が導入しているアダプト制度が運用されています。また、活動団体数は本年末で2万3,000と推定しています。活動人員は115万人で、10年前と比べ約20倍に拡大しました。



アダプト・プログラム トピックス

アダプト・プログラムに関するトピックスをご紹介します。

内閣府行政刷新会議の公共サービス改革分科会でアダプト制度が取り上げられました。1月の分科会では徳島県・広島県・岡山市の事例紹介があり、4月の取りまとめで、アダプト・プログラムが明記されました。こうした国の検討会でアダプト制度が取り上げられることは大きな追い風になると考えています。

続いて、自治体の事例を紹介します。一つ目は大阪府の「笑働 OSAKA」です。昨年アダプト制度10周年を迎え、これを契機として、「参加することも笑働、伝えることも笑働、感謝を表わすことも笑働」という、アダプト・プログラムを含めた府民全体の大きな取り組みとして展開されています。Face bookの活用による連携の輪を広げるなど様々な施策を実施しています。

(1) 内閣府行政刷新会議HPより

<http://www.cao.go.jp/sasshin/koukyo-service/meeting/110127/pdf/7-1.pdf>

公民連携の新たな形態について
平成23年1月27日
公共サービス改革担当事務局

(資料7)
1. 公民連携の新たな形態について
(2) ここでは、上記の制度以外の公民連携の取組みについて、企業との包括協定等、公民連携の受け皿会社の設置、NPOとの協働、ボランティアや地縁組織等が参加するアダプト制度、新たな非営利活動を担う制度の必要性についてとりあげる。根本委員が考案されているPPPトライアングル上では、次に位置づけることができる(赤字部分)。
(第2回公共サービス改革分科会・根本委員提出資料)

事例：次ページ

ベクター・ベストの社会福祉のトライアングル
を根本がPPPに拡張したもの



覧でまとめて紹介しています。

活動団体の3割強を占める企業にスポットを当て、企業主体のアダプト・プログラムの事例を紹介します。山形県、福岡県では、企業と協働・連携して「アシスト企業」がアダプト活動を支援する制度を実施しています。一方、鹿児島県では、活動支援のための協賛金制度を導入しています。その他、滋賀県の「近江の美知普請」の制度では、3つの制度のうちひとつが企業向けの制度になっており、滋賀・大阪・兵庫では主に企業対象の道路照明の維持管理制度を採用しています。秋田県では4年前からアダプト制度を導入していますが、まずは企業から進めようということで、現時点では企業のみ募集しています。

食環協の活動紹介

食環協は平成10年よりアダプト制度普及推進の旗振り役となり、アダプト情報の提供を始め種々の施策を実施してまいりました。当協会は、これまで制度・事例紹介が主でしたが、アダプト・プログラム導入後10年余りを経過し、制度運用上の課題や活動上の悩みを抱えている実態もあり、今後は基本情報の他、こうした課題や悩みの解決策、成功事例のまとめ、意見交換の場を提供するなど、アダプト・プログラム情報センターとしての機能を充実強化する方向で検討しています。

また、平成20年～22年に実施したアダプト・プログラム研究会の研究成果である報告書を本年発行しました。ホームページでもご案内しておりますので、ぜひご覧ください。

当協会が公益社団法人として再発足するに当たり、環境美化アドバイザーフェロー制度を設けました。今年、本日基調講演でご登壇いただく根本美緒様をお願いしています。我々と一緒になり、環境美化の取り組みを進めていただいております。

地域行政・NPOと連携したアダプト活動支援自販機のご紹介をします。広島県の中間支援組織NPO法人ひろしまアダプトは、飲料メーカーとタイアップし、アダプト活動を支援する自販機（キャラクターのアダピィが描かれています）を誕生させました。購入した飲料代金の一部がひろしまアダプトに寄付される仕組みです。大阪でも「笑働 OSAKA」の自販機が導入されています。

食環協は全国に42の地方連絡会議（地連）があり、地域の環境美化、アダプト・プログラムの推進、環境学習の支援等を実施しています。各地で開催される環境イベントでは、当協会、地連、地元自治体が連携・協働してブース出展し、地域アダプトのPRや参加者

次に徳島県です。徳島県はアダプト発祥の地で、道路・河川・公園など多くのアダプト制度が導入されています。ホームページでは県の制度の他に国の制度も紹介しており、活動中の方、これから参加しようとする方にとって大変分かりやすい構成になっています。同様に新潟県では、「うるおいの郷土はぐくみ事業」として県の制度をまとめています。また、埼玉県狭山市でも市の制度の他に県の活動内容も一

募集を行っています。このような機会がありましたら、ぜひお声掛けください。